

小森野だより

発行
久留米市小森野1-1-1
久留米工業高等専門学校内
同窓会久留米工業会本部
電話 (0942) 39-2743
同窓会ホームページ
<https://komorinokai.jimdo.com/>
同窓会事務局メールアドレス
komorinokai@h2.dion.ne.jp

体験から出て来た色んなフレーズ...

同窓会久留米工業会 会長 國松 良康 (機械工学科 第七回卒業)

今年、記憶に残りそうな年となりました。この目出度い人生の大事な卒業式が、不本意な形で行なわれた事、同窓会会長として皆様の気持ちを察し残念でなりません。

しかし、この五年間、二年間日々努力を重ね見事卒業された事に内容は全く変わりありません。私も昭和四十七年に機械工学科を卒業し、たまたま家業(石材加工)の都合で、父の跡を継ぐべく帰りました。ここからが人生山あり谷ありの始まりでした。多くの体験の中から「何があっても当り前」が一つの生き方として学びました。

個人商店の小さな石材店で、超高齢化してまして、又昔年らの仕事場、現場で所謂3K、6Kでしたから、若い人が入って来ないし、入れてもすぐ辞めていく状況でした。第二次、第二次オイルショックを経験し、景気の波は、色々ありました。基本的には右肩上がりでしたので、結果的には借金しても何とか返済していきました。一番年下でしたので、石運び、土方等肉体労働ばかりでした。人を動かして成果につなげる立場ではあ

りませんでしたが一番下の気持は、今でも良く分かります。しかし現状打破しない事には明日はありません。人を動かす、動いてもらう、無から有を生み出す。成果(入金)を出して厳しい借入れの銀行対応は本当に良い勉強になりました。二十五歳の時、年商の一五倍の借金をして一つ目の工場を建て、三十五歳の時、年商の二倍の借金をして二つ目の工場を建てました。四十歳の時、年商の二五倍の借金をして一つ目の霊園をオープンしました。五十歳の時年商の二倍の借金をして、二つ目の霊園をオープンしました。六十歳の時、年商と同じ額で納骨堂を建設しました。色々自慢めいた文で恐縮ですが、この経験からは非皆さんにお伝えしたい事があります。実は、二十五歳の時から毎年行動実行目標を書き、その紙をトイレの壁に貼って毎日毎日読みました。人は、読んで暗記し、記憶して、次に深層心理の中迄入れたら自動的に思考と行動が一致して動き出します。是非試してみてください。多く書いても二つ三つ達成すれば、それで十分です。

若い時の人生の階段の踏み上がりは低くても、だんだん足腰が強くなつて一つの踏み上がりは高くなり、必ずあります。しかし行動には、壁が立ちほだかります。私の体験ですが、「逃げたら三倍の定理」があります。逃げて人に任せたり助けを求めたりした事が何度かあります。結果最初から正面で向き合えば、一のエネルギーで済むのが三つのエネルギーを必要とする場面へと展開します。参考にして下さい。しかし頑張っていると必ず協力者が現れ、不思議と成功へと向きます。「若い時の苦労は買ってでもせい！」やるかやらないかやつた者の勝ち！」です。そして、「あの時に比べれば!!」の苦しい経験をして欲しいと思います。

久留米へ入学されてお伝えしたい事があります。それは、この学校の歴史から創られた校風です。諸君は、気付かぬうちに、育ったという事です。高等工業、旧制工専、短大と他の高専にはない自主を重んじて、学生として扱う教育方針です。振り返ってみて下さい。授業にチャイムはありません。ホールも殆んどなく、テーマに對し学生が考え、決め実行して来たと思えます。高専祭、文化祭、色々なイベント、自分の頭で考え、企画して来たと思えます。

昔、電気工学科の前田教授から諸君は、授業料(当時九六〇〇円/年)を払って大きな顔をするが、二五〇万/年の税金が、つき込まれているのだよ。と言われました。これからは、国へお返しの時です。

校長就任のご挨拶

久留米工業高等専門学校長 本庄 春雄

四月から久留米高専の校長を務めております。同窓会の皆様方におかれましては、どうぞ、宜しくお願い致します。一年ほど前に九大の総合理工学府・研究院で定年を迎えました。専門は非線形・非平衡系統計物理で最近では社会物理に専念していました。総合理工学府は学部を持たない独立大学院です。全国の学部生、高専の専攻科学生、社会人、そして、留学生を受け入れています。久留米高専の優秀な専攻科学生を積極的に受け入れるのが戦略の一つでした。

た。その縁で、久留米高専とは色々とお付き合いをさせていただいておりました。研究室には久留米高専の学生さんが今も在籍していて、昨年は、その学生さんとセミナーを週一で開催していました。総理工の学府長・研究院長を務めていたときに、久留米高専の外部評価委員長を仰せつかったことがあり、大学以上に様々な教育・研究・地域貢献などの活躍をされていることに驚かされたことを覚えております。学府長・研究院長を務めた後の数年間は九大の副学長を仰せつかっておりました。

世界的な新型コロナウイルスがパンデミック化しており、我が国もその対応に追われています。同窓生の皆様方にも様々なご苦労がおりかと思えますが、安心・安全な生活、企業の発展にご尽力されていることと推察しております。本校におきましても、学生と教職員およびその関係者が感染しない、感染させない対応を取ると同時に、ネット授業を活用するなど、学生の学びが途絶えることがないように対応しております。赴任直後から高専事情に慣れる暇も無く新型コロナウイルスへの対応に追われていますが、教職員の方々には大変、頑張ってもらっています。新型コロナウィルスとは、通常のインフルエンザのように共存することになると思われますので、学生や教職員の安全に配慮しながら学校運営に努めてまいりたい所存です。

久留米で学んだ優秀な諸君、日本を背負っている自覚を持って頑張ってください。多くの人々が諸君の成功を期待しています。最後に日本中に多くの優秀な先輩達が居られます。後輩を可愛くしないと、一人も居ません。こんな人達を簡単に巷で出会うことは、ほぼ難しいと思います。人生一〇〇年毎日違う人と出会っても三六、五〇〇人です。是非全国六支部ある同窓会に足を運んで良い出会いを求めて下さい。私も多くの先輩に大変良くして頂きました。枚挙にいとまがありません。最後に改めて心より、御卒業おめでとうを申し上げ結びと致します。

世界は急速に進化し続け、それに代わって、社会構造も絶えず変化しています。そのような社会では、人類の平和や福祉、科学・技術の意味などを考える素養を備えた創造的技術者がこれまでに以上に求められます。若い十五才の学生を受け入れて五年一貫教育を施す高等専門学校は、そのような高等教育機関として非常に優れた教育システムと確信しています。ここ、小森野の地、久留米高専でそのような仕事に従事できることを教職員とともに喜びと感じています。同窓生の皆様方のご指導・ご協力をお願いすると同時に、皆様方のご健康とご活躍を祈念し、校長就任のご挨拶と致します。

